

Marking notes
Remarques pour la notation
Notas para la corrección

May / Mai / Mayo 2016

Japanese / Japonaise / Japonés
A: language and literature /
langue et littérature /
lengua y literatura

Higher level
Niveau supérieur
Nivel superior

Paper / Épreuve / Prueba 1

These marking notes are **confidential** and for the exclusive use of examiners in this examination session.

They are the property of the International Baccalaureate and must **not** be reproduced or distributed to any other person without the authorization of the IB Assessment Centre.

Ces remarques pour la notation sont **confidentielles**. Leur usage est réservé exclusivement aux examinateurs participant à cette session.

Ces remarques sont la propriété de l'Organisation du Baccalauréat International. Toute reproduction ou distribution à de tierces personnes sans l'autorisation préalable du centre de l'évaluation de l'IB est **interdite**.

Estas notas para la corrección son **confidenciales** y para el uso exclusivo de los examinadores en esta convocatoria de exámenes.

Son propiedad del Bachillerato Internacional y **no** se pueden reproducir ni distribuir a ninguna otra persona sin la autorización previa del centro de evaluación del IB.

General marking instructions

These notes to examiners are intended only as guidelines to assist marking. They are not offered as an exhaustive and fixed set of responses or approaches to which all answers must rigidly adhere.

Good ideas or angles not offered here should be acknowledged and rewarded as appropriate. Similarly, answers which do not include all the ideas or approaches suggested here should be rewarded appropriately.

Of course, some of the points listed will appear in weaker papers, but are unlikely to be developed.

Instructions générales pour la notation

Ces notes ne sont que simples lignes directrices pour aider les examinateurs lors de la notation. Elles ne peuvent en aucun cas être considérées ni comme un ensemble de réponses fixe et exhaustif, ni comme des approches de notations auxquelles les réponses doivent strictement correspondre.

Les idées ou angles valables qui n'ont pas été proposés ici doivent être reconnus et récompensés de manière appropriée.

De même, les réponses qui ne comprennent pas toutes les idées ou approches mentionnées ici doivent être récompensées de manière appropriée.

Naturellement, certains des points mentionnés apparaîtront dans les épreuves les moins bonnes mais n'y seront probablement pas développés.

Instrucciones generales para la corrección

El objetivo de estas notas para los examinadores es servir de directrices para ayudar en la corrección. Por lo tanto, no deben considerarse una colección de respuestas y enfoques fijos y detallados por la que deban regirse estrictamente todas las respuestas.

Los buenos enfoques e ideas que no se mencionen en las notas para la corrección deben recibir el reconocimiento y la valoración que les corresponda.

De igual manera, las respuestas que no incluyan todas las ideas o los enfoques que se sugieren en las notas deben valorarse en su justa medida.

Por supuesto, algunos de los puntos que se incluyen en las notas aparecerán en exámenes más flojos, pero probablemente no se habrán desarrollado.

1. テキスト A と テキスト B

どちらのテキストからも、「アイデンティティーの模索」や「自己の確立」といった、生きる上でのテーマを読み取ることができます。どちらもノンフィクションであるという共通点はあるものの、テキスト A がファッションの観点から書かれた「身体（からだ）」についての批評文であるのに対し、テキスト B はアーティストが彼の気持ちや感情を詩的な方法で書いた日記文であり、それが絵と一緒に並べられています。テキスト A が身体に関する哲学的な考察であるにもかかわらず読み手に話しかけるような読みやすい形をとっているのに対し、テキスト B は抽象的な文体で書かれています。

適当～良い答案は以下を含む

- 各テキストが自己をどのように探究しているか、そして読み手にどのようにアイデンティティーについて考え直す機会を与えているか、比較対照している。
- 各テキストが、詩的文体、批評文というそれぞれ異なるスタイルの中で、どのようなレトリックや言語、または構成を用いて哲学的な疑問を投げかけているのか、説明している。
- 各テキストがどのような視点から異なる読者層や世代に働きかけ、文章の目的を伝えているか、比較対照している。
- テキストの主題を伝えるためにどのような表現が用いられ、それが読者に対しどのような効果をもつか、分析している。例えば、テキスト A の「僕」と「あいつ」、テキスト B の「僕」と「君」などである。
- 絵のタイトルと日記の見出しの中でどちらも静けさを表す言葉（「Silence」と「静かな」）が用いられていることに着目し、テキスト B の絵に言及しながら、テキストと視覚イメージの関係について分析している（この際、絵の他にも、文字のフォントや間隔がもたらす視覚効果について言及してもよい）。

良い～非常に優れた答案は以下も含むと考えられる

- 人生の意味や自分の存在の意味、また、社会の中の自分探しや自分の中の自分探しなどについて、テキストの批判的読解に基づいてさらなる分析を展開している。
- 両テキストのタイトルやテキスト B の絵のタイトルも考慮に入れながら、テキストが言及する（またはほのめかす）文脈（コンテクスト）について、見識あるコメントを展開している。
- テキスト A の批判的だが読みやすい文体、また B の抽象的な文体を考慮して、文体についてのより深い理解とその読者に対する効果を論じている。
- テキスト B の日記とあとがきの役割をつなげて考察している。

2. テキスト C と テキスト D

テキスト C、D とともに「自然」という現代社会における重要な要素について考察しています。テキスト C は小説からの抜粋で、自然と人(類)の調和ある関係について詩的なトーンで描いています(ただし、受験者がテキスト C を小説からの抜粋であると特定する必要はありません)。テキスト C が抽象的な文体を取っているのに対し、テキスト D では客観的・分析的な文体が用いられています。テキスト C は広い意味での自然との共生について考察しているのに対し、テキスト D は現代社会における生態系や、持続可能性、文明について具体的な例に言及しています。また、発展や文明、自然を取り巻く文化的価値観にも言及しているため、テキスト D はトピックやテキストについて受験者が分析しやすくなっています。またテキスト D のウェブページ上部のタブにはこの(ウェブサイト管理者となる)研究機関の目的、活動、読者層などを示唆する情報が含まれており、受験者がこのテキストに関連する背景情報や全体像についての理解を得るのに役立つでしょう。

適当～良い答案は以下を含む

- 各テキストがどのように持続可能性や、自然と文化(もしくは文明)の間における調和的関係の重要性、また、共生や破壊といった概念を伝えているかを論じている。
- 似たようなテーマが各テキストでどのように描かれているか比較対照している。
- 各テキストにおける異なる文体や言語の使い方がメッセージの伝達にどのような影響を及ぼしているかを分析している。
- テキスト D のウェブサイトの視覚要素を用いて、またテキスト C のスタイルと比較しながら、読者や目的における類似点・相違点などを分析している。

良い～非常に優れた答案は以下も含むと考えられる

- テキストの読解に基づき、自然との持続可能な共生というコンセプトについてさらに考察を広げている。
- 日本や東アジアにおける「自然」という概念に言及している。もしくは、テキストのトピックを現代社会における環境問題という大きなテーマにつなげて考察している。
- 単語の使い方やトーンに着目し、トピックの異なる扱い方を比較しながら、両テキストを関連づけている。
- テキスト D の研究機関、その目的や活動、読者層などについてのさらなる分析をしながら、テキスト C と比較対照している。